

施設内危険箇所点検表

あなたが『危険だ』『使いにくい』『なにか変だ』と感じる施設内の危険箇所を探して下記の表に記入して下さい。

(どこがどんな状態で危険であるのか・・・どこがどんな状態で使いにくいのか・・・どこが変なのか・・・を具体的に記入して下さい。)

また、どんな対策を打てば良いか分かれば、それも記入してください。

この危険箇所点検表は1週間後に施設長宛てにご提出ください。

No.	どこが	どんな状態で	どんな危険が	どんな対策が

職 場 _____ 氏 名 _____

危険個所は期限を設定し責任者を決めて対策を講じます。対策は可能な限り具体的に行います。

[illegible]

記載例

施設内危険個所改善管理表

No	どこが	どんな状況で	どんな危険が	どんな対策を	改善情况	改善不可の理由	改善期限	改善責任者	改善確認
1	エレベーター前	食前食後、行事で混雑している。	車椅子の方がぶつかる。歩行の方の転倒、打撲。	自立歩行の方には声掛け、椅子に座って頂き、車椅子の方は歩行の方の邪魔にならぬ位置へ誘導。				介護主任	
2	エレベーター	延長（開く）のボタンを押していないと、早く閉まる。	利用者さんが、扉に挟まれてしまう。	利用者さんによっては、延長ボタンを押す事が困難な方が多いので、通常でも閉まるタイミングは遅くして欲しい。		改善は可能と思われるがエレベータの回転率（待ち時間）が長くなります		設備担当	
3	エレベーターの入口の溝	利用者（歩行者の人、車椅子の人）が乗り降りする時に。	溝にタイヤなどが挟まり、転倒してしまう危険がある。	溝が埋められたら良いと思う。	改善済み	スパーサーがウレタンの為、注意が必要、完全に落ちなくするのは不可能です。段差は、発見し次第業者に調整してもらっているが構造上完全になくすのは不可能		設備担当	
4	エレベーターのドア下のすきま	車椅子、歩行者の乗降で。	車輪が挟まってしまうことがある。						
5	エレベーターの入口	段差と隙間がある。	車椅子の前輪やシルバーカーの車がはさまり、転倒する可能性がある。	段差と隙間をなくす工事を行なう。					
6	エレベーターと床の間の隙間	車椅子の出入り時。	前輪が隙間に落ちる。	介助の場合、後輪から出ている。自立者が出入りの場合、目配りをしている。					
7	エレベーター内の手すり	エレベーター内に利用者さんが4～5人入っている時。	手すりにひじや腕をぶつけ、表皮剥離などを起こす可能性がある。	手すりに布などやわらかい物をかぶせて対応する。	検討中			設備担当	
8	苑庭	利用者が通行するのに、道が整備されていない。	転倒の危険。	苑庭を整備する（舗装）。				施設長	
9	居室	夜間暗い。	自立者などは動きが取りづらく、転倒の恐れがある。	一人一人のベッドの上に明かりをつけたらどうか。	改善可能施設判断			設備担当	
10	居室のタンスの角	トランスファー時（ハネムーンとか平行移動）。	頭がぶつかってしまう恐れがある。	ハネムーンや平行移動の対象する利用者のタンスの角にスポンジを置いたり、トランス時注意する。	改善可能施設判断			設備担当	
11	トロミを居室に置いている	異色のある方が、食べてしまう。	窒息する。	居室のわりにくい場所、見えにくい場所にトロミを置く。できれば、トロミは居室に置かない。				介護主任	
12	318号、321号室の扉	出っ張っている所があり、ぶつかったら危ない。	〇〇さんが起きてきた時に、扉が急に閉まったり、出っぱっている所にひっかかったらケガをする。	安全な扉、又はカーテンなどにしたらどうか。				介護主任・施設長	
13	316、321の居室の扉	出入りする時。	利用者が通ろうとし、腕を引っかけたり、車椅子が引っかかり、通れない。	ドアを外し、他の居室と同様にカーテンに替える。				介護主任・施設長	